学校番号	3001

令和８年度　書道科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	書Ⅰ　（光村図書）						
副教材等	な　し						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では用具用材の違いによる表現の違い等を学びましょう。
・漢字の楷書と行書の基本的な書き方を身につけ、筆の弾力を使いこなし、自分らしい文字を書くことが出来るようになることをめざします。
・制作する過程で、自身の理解と表現を考え、他の人の気持ちを感じ、心豊かな生活や社会を創造していく態度と豊かな情操を培います。
・身近に飾れる作品を作り鑑賞することで、幅広い感性、鑑賞力を身につけます。

２　学習の到達目標

(1)　【知識及び技能】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
(2)　【思考力、判断力、表現力】
書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
(3)　【学びに向かう力、人間性など】
主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	用具、用材の特徴や、線質、字形、構成等の要素と効果、風趣との関わりなど理解している。 目的や用途に即して、効果的な表現をするための基礎的な技能を身につける。	意図に基づいた表現について構想し工夫している。 生活や社会における書の効用について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。	主体的に幅広い鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 主体的に幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。
評価方法	ワークシート 提出作品	制作の様子 制作過程の作品 ワークシート 提出作品	学習活動の様子 ワークシート 振り返りプリント

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じてそれぞれの観点を適切に配分し評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	書写から書道へ	・書道の三分野と臨書・鑑賞・創作の学習方法を理解する。 ・国語科書写と芸術書道の学習の違いを確認する。	a: 書道の分野や書道で学習すること、小・中学校の国語科書写で学習した内容を理解している。 c: 芸術科書道の学習に関心をもち、書道で学習することや、小・中学校の国語科書写で学習した内容に関心をもち、主体的に取り組んでいこうとする態度を養っている。	学習プリント		学習活動の様子
	楷書と行書の学習	・楷書と行書の古典臨書を通じて、古典の書風に即した用筆、運筆、線質、字形を理解する。 ・それぞれの古典の書体や書風に即した用筆、運筆、字形の他、全体構成を工夫しながら表現する。	a:古典の書体や書風と、用筆、運筆との関わりについて理解し、字形や構成を生かした表現を身につけている。 b: 古典のよさや美しさを感受し、古典の特徴や書風に即した用筆、運筆、字形などについて構想し、工夫している。 c:主体的に漢字の書の幅広い鑑賞や表現の学習活動に取り組もうとしている。	提出作品 ワークシート	ワークシート 制作の様子	学習活動の様子 ワークシート 振り返りプリント
	篆刻	・印の使い方や種類、篆刻に必要な用具とその使い方を学ぶ。 ・選文、検字から押印、補刀までの制作手順を理解する。 ・印影を鑑賞し、構想や表現に生かす。	a: 篆刻の歴史や書作品における落款の役割や、用具、用材の扱い方、制作手順について理解している。 a: 漢字の書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身につけている。 b: 漢字の書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 c: 主体的に篆刻の幅広い表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	提出作品 ワークシート	ワークシート 制作の様子	学習活動の様子 ワークシート 振り返りプリント

二学期	仮名の書	・仮名の成立と種類について学ぶ。 ・平仮名、変体仮名、片仮名の学習を通じて古典に基づく基本的な用筆、運筆などを理解する。	a: 古筆に基づく基本的な用筆・運筆の技能、連綿と単体、線質や字形を生かした表現をするための技能を身につけている。 b: 仮名の古筆の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 c: 主体的に仮名の書の幅広い表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	提出作品 ワークシート	ワークシート 制作の様子	学習活動の様子 ワークシート 振り返りプリント
	漢字仮名交じりの書	・用具、用材の特徴と表現効果との関わり、漢字と仮名の調和や自由な紙面構成などの漢字仮名交じりの書の特徴を理解する。 ・自ら選んだ語句を漢字と仮名の調和した用筆、運筆、字形、全体の構成を工夫しながら表現する。 ・相互鑑賞会	a:用具、用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と、用筆、運筆との関わりについて理解している。 a:目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につけている。 b: 漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。 c: 主体的に漢字仮名交じりの書の幅広い鑑賞や表現の学習活動に取り組もうとしている。	提出作品 ワークシート	ワークシート 制作の様子	学習活動の様子 ワークシート 振り返りプリント
三学期	古典を生かした創作	・これまでに学んだ古典を参考にしながら、自ら書く言葉を決め作品を制作する。 ・作品を鑑賞しあい、交流する。	a:用具、用材の特徴と表現効果との関わり、書体や書風について理解している。 a:漢字や仮名の古典に基づく基本的な用筆、運筆の技能を身につけている。 b: 漢字や仮名の古典の書体や書風に即した用筆、運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 c:**主体的に**書のよさや美しさを感受し、伝統と文化の価値について考えながら、幅広い表現や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	提出作品 ワークシート	ワークシート 制作の様子	学習活動の様子 ワークシート 振り返りプリント

※年間指導計画(例)作成上の留意点

・原則として一つの単元(題材)で全ての観点について評価することとなるが、学習内容(小単元)の各項目において特に重点的に評価を行う観点(もしくは重み付けを行う観点)について記載している。